

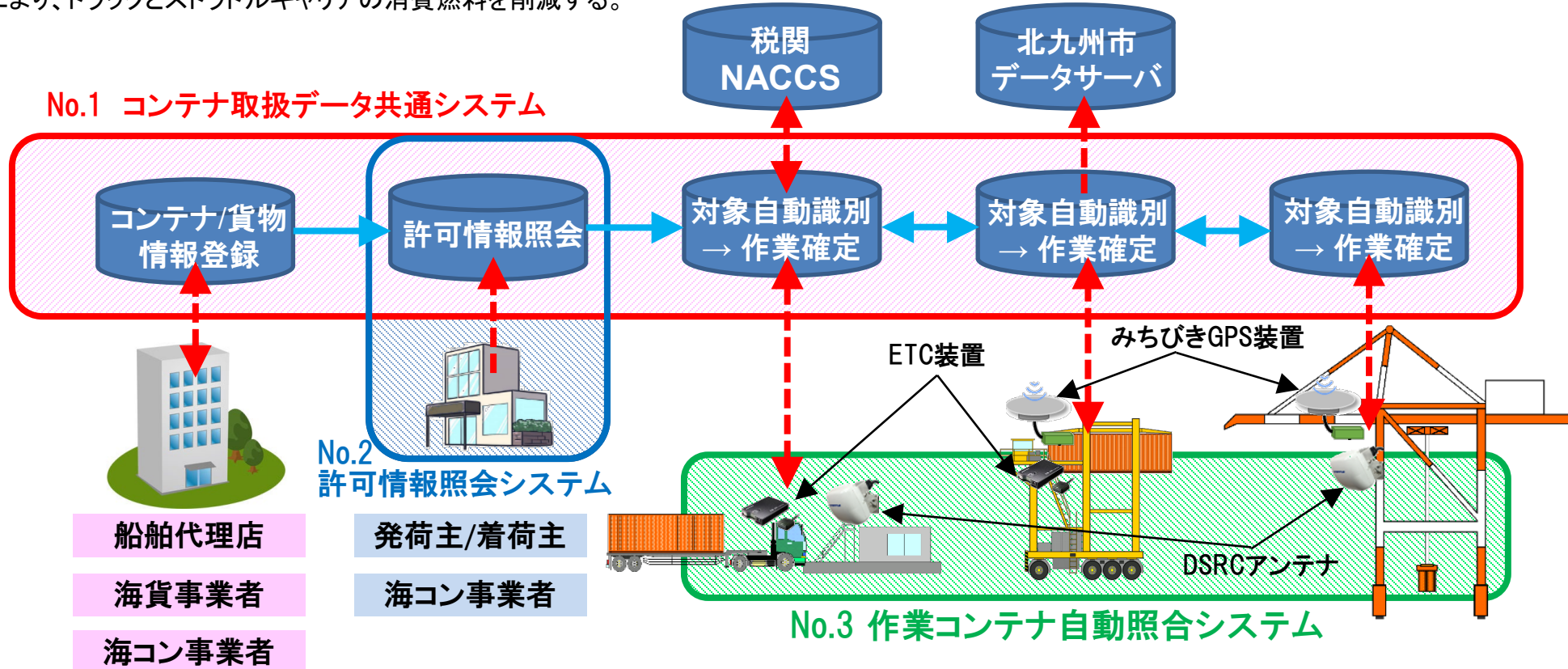
## 令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者の2次公募の結果について

令和4年度「AI・IoT等を活用した更なる輸送効率化推進事業費補助金（新技術を用いたサプライチェーン全体の輸送効率化推進事業）」に係る補助事業者について、令和4年9月15日から10月14日まで公募を行い、応募のあった提案について、第三者で構成される審査委員会による厳正な審査を行った結果、次のとおり補助事業者を決定しましたのでお知らせいたします。

事業者	株式会社シスコム
事業名	DSRCアンテナとみちびき衛星GPSによるCT荷役効率化の省エネ実証事業
補助金額	49,248,639円（補助率 0.25% ※令和4年度のみ補助額）
事業の特徴	コンテナターミナル周辺では、コンテナの引取・引渡に来るトラックの日常的な渋滞が課題となっています。本取組の荷主及びトラック事業者が連携する共通システムの導入により、コンテナターミナル内のストラドルキャリアの荷役作業が効率化され、トラックのコンテナ荷役にかかる時間が短縮されるとともに、コンテナターミナル周辺のトラック渋滞が改善されることが見込まれています。以上によりトラックとストラドルキャリアの消費エネルギー削減を目指す事業です。 (事業実施期間は2カ年を予定)
省エネ率	▲21.2%(トラック1.4%、ストラドルキャリア19.8%)の省エネ効果を見込む

## 事業の概要

- ① 荷主の貨物情報及び海コン事業者のトラック情報が共通システムを通じてデータ連携し、アルゴリズム作動によりコンテナの最適蔵置を自動的に計画
- ② コンテナターミナルに到着したトラックに搭載されたETC装置をDSRCアンテナが読み取り、当該トラックの引渡し/受取り貨物を自動識別
- ③ ①と②の自動連携により、ストラドルキャリアの荷役作業効率化、トラックのコンテナ荷役時間短縮、コンテナターミナル周辺トラックの渋滞緩和を実現  
以上により、トラックとストラドルキャリアの消費燃料を削減する。



No.1 共通システム・・・サプライチェーン全体の効率化を実現するための事業者間データ連携

No.2 Web照会システム・・・共通システムのデータ利用者への動態情報連携

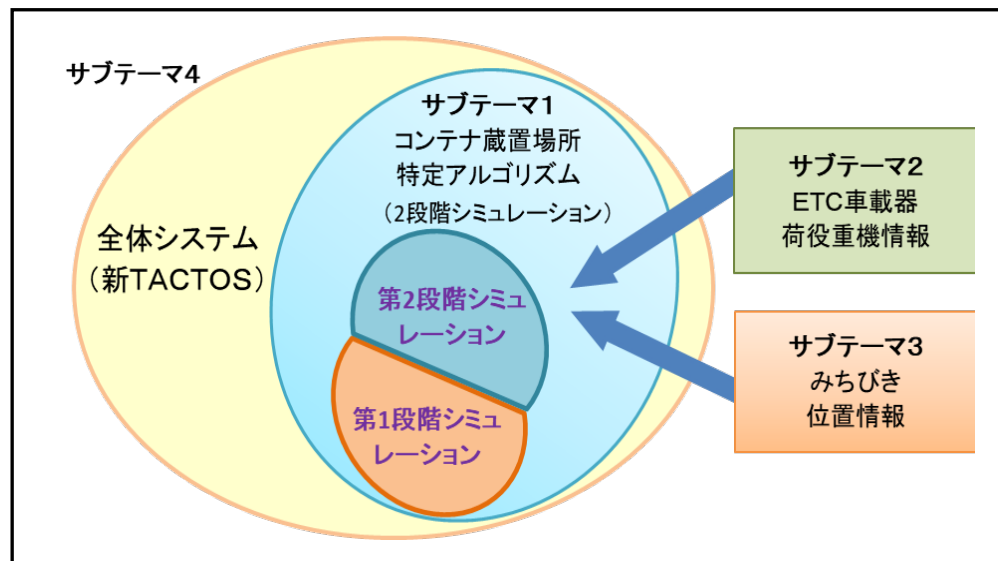
No.3 IoT装置システム・・・トラック搭載のETC装置を利用してコンテナ・貨物情報を自動照合(特許)

## 事業全体計画

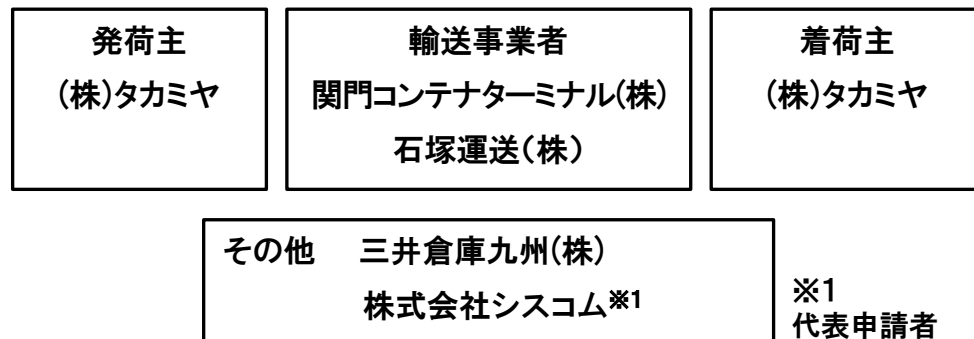
### スケジュール

項目	補助対象	概要	R4年度	R5年度	R6年度
システム 詳細設計	○	No.1 コンテナ取扱データ共通システム	契約 →		
	○	No.2 許可情報照合システム	契約 →		
機器の製造・発注	○	No.1 コンテナ取扱データ共通システム	→		
	○	No.2 許可情報照合システム	→		
	—	No.3 作業コンテナ自動照合システム(第1ヤード)	→		
	○	No.3 作業コンテナ自動照合システム(第2ヤード)	→		
システム稼働	—	No.1 コンテナ取扱データ共通システム		→	→
	—	No.2 許可情報照合システム		→	→
	—	No.3 作業コンテナ自動照合システム		→	→
検証	—	検証運用		→	→
	—	NX 総研に報告	→	→	→

### No.1システムとNo.3の関係図



### 事業体制図



R4年度には、システムの詳細設計と構築を行う。R5年度・R6年度はシステムを稼働しながら、共通システムにおける2段階シミュレーションの最適化を繰り返すことで、荷役作業時間短縮及び省エネルギー効果の最大化を目指す。